



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

【令和5年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

本日、交通安全教室を実施しました。

～横断は、『一旦停止、左右確認！！』～



本日、鹿島警察署、町総務課、町交通指導員の皆様に来校していただき、交通安全教室を実施しました。1、2年生は、指導を受けた後、実際に学校近辺の信号のある交差点（横断歩道）や、信号のない横断歩道等を渡りました。3年生、5年生は、運動場に作ったコースで、実際に自転車に乗りながら指導していただきました。

歩行時も自転車乗車時も同じですが、道路横断時の一旦停止と、左右確認が、最重要ポイントです。実際の交通事故は、横断歩道でも起こっています。例えば信号が青であっても、左右の確認は、不可欠です。保護者の皆様や地域の皆様と協力して、この道路横断時の『一旦停止、左右確認』（※歩行時は、手を挙げて。自転車からは、降車して。）を、子どもの時に、しっかりと徹底させたいと考えています。車を運転するようになって、大事です。

お願いですが、子ども達の地域での様子を観られて、気になることやしっかりやっている様子等、情報を下さい。指導する場合、具体性があると、指導の効果は確実に高まります。ぜひ、遠慮されずに、お願いいたします。

「うざかあ〜」「めんどうか〜」「しとうなか〜。」

～そろそろ出てくる、“甘えん坊の芽”等～

新年度になって1カ月もすると、担任との関係に慣れも出てきて、できることをあえてやらない状況が出てきます。誤解がないように申し添えますと、できないことをやるとか、何でもかんでも我慢してやりなさいとか、いうわけでは、けっしてありません。やろうと思えば今すぐできることを、しっかりやるということにこだわるといことです。

先日から繰り返し説明をしていますが、4月、5月は、小さなことから今できることをしっかりやって、それを誉め、今できることを、本気でやるということを定着する時期です。挙手とか、あいさつとか、提出物の出し方とか、靴ならばとか、漢字の学習とか、音読とか、給食準備とか、掃除とか、やることはいっぱいあります（学年によって違いますが）。この時期は、一つ一つていねいにやっていくことが必要です。今できることを本気でやるというのは、簡単なようで、実はそう簡単なことではないわけです。

1カ月もした時、「うざかあ〜。」「めんどうか〜。」「しとうなか〜。」という芽が出てきます。芽であればいいのですが、学級全体に広がれば、すぐ“学級崩壊状態”にもつながります。できるのに、わざとやらないという状況がまん延するわけです。

教室を回っていると、その雰囲気は、すぐにわかります。席を離れたり、不必要なものを出して遊んだり、不要な声を出したり（必要のないおしゃべりをしたり）している様子を目にすることがあります。他の人が来ると、パッと態度を変えます。パッと態度を変えるということは、やることはわかっているのに、わざと別のことをやっている証拠です。

もちろん、教師の役割があります。

- ① 子ども達にわかりやすい活動の仕方を提示し活動を保障する。
- ② 適切に個別支援・個別指導を行う。
- ③ 子ども達のふりかえりの後に、がんばっている様子を“べた褒め”したり、課題をズバリと指摘したりする。

などです。その上で、子ども達には、自分の今できることを精一杯やることを求めます。

「うざかあ〜。」「めんどうか〜。」「しとうなか〜。」という芽を摘み、今自分のできることを、本気で精一杯やる雰囲気を確実につくるには、ご家庭の協力が不可欠です。やっていただくことは、一つだけです。「自分のできることは、精一杯やりおろねえ？」と時々聞いてもらうことです。もちろん、「できとらん。」とは言いませんので、本質を見抜いて下さい。情報を収集すれば、必ず本質が見えてきます。学校からも、本気でやっている状況や、逆に目に余るような「うざかあ〜。」「めんどうか〜。」「しとうなか〜。」の態度は、お知らせするようにします。良くない連絡があっても、必要以上に気にされる必要はありません。自分のことをふりかえれば、誰もが、心当たりのあることではないでしょうか。しかし、放っておけないのが、私たちの仕事です。